

2013年中頃より CIA 試験 制度が変更されます！

※詳細は、[\(社\) 日本内部監査協会ホームページ](#)にてご確認ください。

● 主な変更点

- ・現在の 4 パート構成から 3 パート構成への変更※1（出題トピックは一部変更あり）
- ・PartⅣ（経営学）の受験免除規定の廃止（新試験移行後 6 ヶ月間有効）
- ・試験時間および出題数の変更※2

※1 大まかなイメージとしては、現在の PartⅢ・Ⅳが新制度の PartⅢに一本化されます。但し、単純に科目が減るというわけではなく、新試験では学習項目が増えるようです。

※2 現各 Part 90 問（150 分）→新 Part I 125問（150 分）、新 Part II・III 100問（120 分）

● 現行制度受験生への影響について

- ・現行 Part I 合格 → 新 Part I 合格として扱う
- ・現行 Part II 合格 → 新 Part II 合格として扱う
- ・現行 PartⅢのみ合格 → 現行の PartⅣ合格（or 免除）を新試験移行後 6 ヶ月以内に満たせば、新 PartⅢ合格として扱う
- ・現行 PartⅣのみ合格 → 新試験移行までに現行 PartⅢに合格すれば、新 PartⅢ合格として扱う

以下の理由により、TAC は**現行制度での CIA 受験が有利である**と考えています。

- ・新制度では、学習項目が増える（出題トピック、現 13 項目削除 → 新 24 項目追加）
- ・本試験 1 問あたりにかけられる時間の減少（現 1 分 40 秒 → 新 1 分 12 秒）
- ・新制度では、**CCSA（内部統制評価指導士）**、**QIA（内部監査士）**、会計士、U.S.CPA（Certificate 取得者）などの資格保有者を対象とした PartⅣ免除規定は廃止

特に、CIA・CCSA の実務経験をお持ちの方は、W ライセンス本科生（3 科目本科生+CCSA 試験対策講座+ファシリテーション講座）の受講により、CCSA 認定による PartⅣ免除規定を活用していただくのが最も有利となります。

今がチャンス！現行制度 での受験がオススメ！

CIA 試験は 4 科目から構成され、どの科目からでも学習を開始することができますが、試験制度変更に伴うリスクを抑えるためには、戦略的に学習を進める必要があります。以下は、どの科目から優先して取得すべきかについてまとめたものとなりますので、学習の参考にお使いください。

●Part I・II（内部監査総論・各論） 講義：全 12 回 合計 30 時間

新試験移行後も合格の効力があるものの、現行制度の方が受験生にとって有利であることから、移行前に取得すべき。なお、Part I・II は同じ内部監査の論点であるため、セットで学習すると相乗効果が働き、効率的かつ効果的。

●Part III（会計学・IT 等） 講義：全 8 回 合計 20 時間

Part IV 免除者 or Part IV 免除を狙う方は、現行の Part III に合格しないと免除の権利を喪失。新試験移行後に新 Part III となり、現 Part IV の内容が盛り込まれるとともに本試験 1 問あたりにかけられる時間が少なくなることから早めに攻略すべき。

●Part IV（経営学） 講義：全 6 回 合計 15 時間（or CCSA 試験対策講座：全 1 回 3 時間）

新試験移行後 6 ヶ月間の移行措置あり。CIA だけでなく CCSA（内部統制評価指導士）の実務経験（内部統制、監査、リスクマネジメント等）をお持ちの方は、Part I・II の学習を活かし CCSA 試験※1 に合格し、ファシリテーション経験※2 を満たすことで CCSA 認定を受け、Part IV 免除を勝ち取る方が、学習負担が少ないためオススメ。

※1 CCSA 試験は、CIA 試験 Part I・II の学習分野とほとんど重複していますので、CIA にチャレンジされる場合は、CCSA 取得もご検討ください。

※2 CCSA 認定のために満たすべき要件の 1 つで、ファシリテーションとは、会議の進行や決議を効果的に促進することをいいます。要件を満たすためには、一定の基準を満たすファシリテーション実施経験 or ファシリテーション研修を受講する必要があります。TAC では、こちらの要件を満たす[ファシリテーション・トレーニング講座](#)を開講しています。

専門スタッフによる無料個別受講相談や無料講座説明会を実施しております。

個別受講相談は[こちら](#)からご予約ください。

無料講座説明会は[こちら](#)をご確認ください。